

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日		記入者	照井康之	連絡先	5166	
平成18年度部名	教育総務部	課名	学務課	課長名	入江建夫	
平成19年度部名	教育環境部	課名	学務課	課長名	須藤由徳	
事務事業名	小・中学校教材等整備事業					
予算上の事務事業名	大規模改修等校備品整備費運営費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	14121		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します					
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造					
施策名	第2施策 小・中学校教育の充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
相模原市規則類						
3 個別計画の概要			概要			
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	維持・管理・補修			5 事業開始年度		
6 事業概要						
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象 (誰、何)		
学校施設課が実施する大規模の校舎改築に伴い、必要な管理備品を整備する。また、大量に備品を整備した部屋には環境衛生検査を併せて実施する。				小・中学校で大規模改修該当校		
(3) 平成18年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。						
小学校1校大規模改修に伴う消耗品、委託料 (環境衛生検査)、大規模改修用備品等の整備を実施。						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 〔単位：千円〕						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	2,105	5,064	1,740	8,450	45,000	
一般財源	2,105	5,064	1,740	8,450	45,000	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	3,690	3,685	4,146	4,606	4,606	
事業コスト合計	5,795	8,749	5,886	13,056	49,606	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	小・中学校大規模改修等備品整備費			対象名称 と単位	小・中学校大規模改修 該当校	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	5,795	8,749	5,886	13,056	49,606	
対 象 数	1	1	1	6	10	
単位あたり経費(円)	5,795,000	8,749,000	5,886,000	2,176,000	4,960,600	
前 年 度 比		1.51	0.67	0.37	2.28	
10 活動指標・・・実施した内容 (活動) を数値化したもの						

指標名と単位	大規模改修実施小・中学校	指標式と指標の説明	大規模改修実施小・中学校数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	1.0	1.0	1.0		
目標	1.0	1.0	1.0	6.0	10.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
1.1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	大規模改修実施小・中学校	指標式と指標の説明	大規模改修実施小・中学校数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	1.0	1.0	1.0		
目標	1.0	1.0	1.0	6.0	10.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
1.2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1.3 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価(今後の方向性)			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		良好な学校環境づくりを進めるため、施設整備に運動した備品整備は必要である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1.4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1.5 課題として認識されたこと		
予算の節減のため、改修後も既存の備品をなるべく継続して使用する方向で調整する。			改造工事の内容によって、整備する備品の種類等が大きく左右されるため、学校施設課及び学校との調整を十分に行う。		
1.6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			